

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2009-261819(P2009-261819A)

【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2008-118088(P2008-118088)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 3 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月27日(2012.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面に複数の図柄が付された複数の回転リールと、
各回転リールに対応して設けられ、対応する回転リールを回転駆動するための駆動モータと、
各駆動モータの回転駆動を開始させるためのスタートスイッチと、
各回転リールに対応して設けられ、各回転リールに対応する駆動モータの回転駆動を停止させるためのストップスイッチと、
遊技を演出する演出装置と、
スタートスイッチの操作を契機に、複数の当選役のいずれに当選か又はハズレかの抽選を行うための当選抽選手段と、
スタートスイッチの操作を契機に、各回転リールが回転を開始して一定の回転速度まで加速するように各駆動モータの回転駆動を制御する加速回転制御手段と、
一定の回転速度まで加速した各回転リールが定常回転するように各駆動モータの回転駆動を制御する定常回転制御手段と、
ストップスイッチの操作を契機に、当選抽選手段の抽選結果及び回転リールの回転位置に基づいて、当該ストップスイッチに対応する駆動モータの停止制御を行うための停止制御手段とを備え、
各回転リールの回転が加速回転制御手段により一定の回転速度まで達したときに、停止制御手段による駆動モータの停止制御が可能になるスロットマシンであって、
演出装置は、
当選抽選手段の抽選で特定の当選役に当選したことに基づいて行われる演出（以下「報知演出」という）を行うことができ、
加速回転制御手段は、
各回転リールが回転を開始してから一定の回転速度に達するまでの時間がそれぞれ異なる複数の加速モードを備え、
当選抽選手段の抽選で特定の当選役に当選しなかった場合には、特定の加速モード（以下「通常加速モード」という）で各駆動モータの回転駆動を制御し、
当選抽選手段の抽選で特定の当選役に当選した場合において、演出装置の報知演出を行

う予定のときには、通常加速モード以外の加速モードで各駆動モータの回転駆動を制御するが、演出装置の報知演出を行わない予定のときには、通常加速モードで各駆動モータの回転駆動を制御する

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

演出装置は、各回転リールの回転が加速回転制御手段により一定の回転速度まで達したときに、報知演出を行い、

加速回転制御手段は、当選抽選手段の抽選で特定の当選役に当選した場合において、各回転リールの回転が一定の回転速度まで達したときに演出装置の報知演出を行う予定のときには、通常加速モード以外の加速モードで各駆動モータの回転駆動を制御するが、各回転リールの回転が一定の回転速度まで加速しても演出装置の報知演出を行わない予定のときには、通常加速モードで各駆動モータの回転駆動を制御する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

(請求項 1)

請求項 1 に記載の発明は、

表面に複数の図柄が付された複数の回転リール(23)と、

各回転リール(23)に対応して設けられ、対応する回転リール(23)を回転駆動するための駆動モータ(66)と、

各駆動モータ(66)の回転駆動を開始させるためのスタートスイッチ(53)と、

各回転リール(23)に対応して設けられ、各回転リール(23)に対応する駆動モータ(66)の回転駆動を停止させるためのストップスイッチ(54)と、

遊技を演出する演出装置(8)と、

スタートスイッチ(53)の操作を契機に、複数の当選役のいずれに当選か又はハズレかの抽選を行うための当選抽選手段(130)と、

スタートスイッチ(53)の操作を契機に、各回転リール(23)が回転を開始して一定の回転速度まで加速するように各駆動モータ(66)の回転駆動を制御する加速回転制御手段(230)と、

一定の回転速度まで加速した各回転リール(23)が定常回転するように各駆動モータ(66)の回転駆動を制御する定常回転制御手段(240)と、

ストップスイッチ(54)の操作を契機に、当選抽選手段(130)の抽選結果及び回転リール(23)の回転位置に基づいて、当該ストップスイッチ(54)に対応する駆動モータ(66)の停止制御を行うための停止制御手段(160)とを備え、

各回転リール(23)の回転が加速回転制御手段(230)により一定の回転速度まで達したときに、停止制御手段(160)による駆動モータ(66)の停止制御が可能になるスロットマシン(S)であって、

演出装置(8)は、

当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選したことに基づいて行われる演出(以下「報知演出」という)を行うことができ、

加速回転制御手段(230)は、

各回転リール(23)が回転を開始してから一定の回転速度に達するまでの時間がそれぞれ異なる複数の加速モードを備え、

当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選しなかった場合には、特定の加速モード(以下「通常加速モード」という)で各駆動モータ(66)の回転駆動を制御し、

当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、演出装置(8)の報知

演出を行う予定のときには、通常加速モード以外の加速モードで各駆動モータ(66)の回転駆動を制御するが、演出装置(8)の報知演出を行わない予定のときには、通常加速モードで各駆動モータ(66)の回転駆動を制御する

ことを特徴とするスロットマシン(S)に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、加速回転制御手段(230)は、当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、演出装置(8)の報知演出を行う予定のときには、通常加速モード以外の加速モードで各駆動モータ(66)の回転駆動を制御する。

換言すると、各回転リール(23)は、当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、演出装置(8)の報知演出を行う予定のときには、回転を開始してから通常加速モードと異なる時間をかけて一定の回転速度まで加速される。

(請求項2)

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明の特徴に加え、

演出装置(8)は、各回転リール(23)の回転が加速回転制御手段(230)により一定の回転速度まで達したときに、報知演出を行い、

加速回転制御手段(230)は、当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、各回転リール(23)の回転が一定の回転速度まで達したときに演出装置(8)の報知演出を行う予定のときには、通常加速モード以外の加速モードで各駆動モータ(66)の回転駆動を制御するが、各回転リール(23)の回転が一定の回転速度まで加速しても演出装置(8)の報知演出を行わない予定のときには、通常加速モードで各駆動モータ(66)の回転駆動を制御する

ことを特徴とするスロットマシン(S)に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

換言すると、各回転リール(23)は、当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、各回転リール(23)の回転が一定の回転速度まで加速しても演出装置(8)の報知演出を行わない予定のときには、回転を開始してから一定の時間をかけて一定の回転速度まで加速される。

また、各回転リール(23)は、当選抽選手段(130)の抽選で特定の当選役に当選した場合において、各回転リール(23)の回転が一定の回転速度まで達したときに演出装置(8)の報知演出を行う予定のときには、回転を開始してから通常加速モードと異なる時間をかけて一定の回転速度まで加速される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

すなわち、請求項2に記載の発明によれば、各回転リールは、当選抽選手段の抽選で特定の当選役に当選した場合において、各回転リールの回転が一定の回転速度まで達したときに演出装置の報知演出を行う予定のときには、回転を開始してから通常加速モードと異

なる時間をかけて一定の回転速度まで加速される。これにより、回転リールに注目していた遊技者が、停止制御手段による駆動モータの停止制御が可能になる前に、演出装置の報知演出が行われることに気付き、これに心を留めて遊技を行うようになるので、報知演出の見過ごしや聞き流しにより当選役の入賞を逃すことを防止できる。